

単元名 わたしたちの表現（選択教材）B

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部の歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05070304_001

【教材名】君をのせて（歌唱）（P. 54～P. 55）

【準備等】範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 気持ちを込めて表情豊かに「君をのせて」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「君をのせて」の主旋律を歌う。 ★言葉を大切にしながら、気持ちをこめて歌おう <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて曲の感じをつかむ。 ・主旋律（下声部を含む）を歌詞唱しながら歌詞と旋律を覚える。 ・歌詞の語句を確認し、イメージしたことや思ったことを交流する。 ○主旋律の歌い方を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・主旋律について、気付いたことを交流する。 弱起で始まるフレーズの多用 エ（曲の山）からの曲想の変化、その手前のクレッシェンドの効果 オで最初の旋律の再現（反復） 全体の強弱記号 静かに余韻を残しながら歌い終わる など ・どのように歌いたいかをメモしておく。 ○下声部を捉え、二部合唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・下声部の音を確認して歌う。 ・上声部と下声部に分かれて二部合唱し、声部の関わり合いや全体の響きを確認する。 ○声部ごとに繰り返し歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の声に合う声部を決め、音を確認しながら歌う。 ・各部分での自分たちの声部を確認し、声の強さや音色を工夫する。 ・声部ごとに数名ずつ歌って旋律を確認する。 ・再度合唱し、どのように歌いたいか話し合う。 ○「君をのせて」の合唱を仕上げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・和音の響きや音の重なり方の変化などを確認し、思いや意図を伝えるためにどのように歌うとよいか話し合う ・合唱を録音して聴き、さらに工夫する。 ・この歌で伝えたいことを確認して歌い合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択教材のBである。 ・アニメ「天空の城ラピュタ」の主題歌である ・矢印で示している部分が主旋律となることを確認する。 ・アとイはユニゾン（斉唱）、ウから二部合唱となる。オの前半は低音パートが主旋律に、後半でまた高音パートが主旋律となる。 ・全員でイメージしたことや思ったことを共有できるように、拡大した楽譜を用意して書き込む。 ・弱起（1拍目以外から旋律が始まること）の部分に気を付け、出だしが遅れないようにさせる。 ・フレーズの歌い方について考えるように促す <p>【共通事項】フレーズ</p> <p>【評】曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解して歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しいリズムや音程に気を付けさせる。3連符や休符から入る部分の歌い方に気を付けさせる。 ・上声部と下声部がずれて歌うところやリズムがそろうところ、オブリガートで伸ばすところなどを意識させる。 <p>【評】声を合わせて歌うことに興味をもって二部合唱する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・録音したり、歌うグループと聴くグループに分けて活動したりして、自分たちの演奏が思いや意図に合っているか確認させる。 ・「さあ」という言葉の子音や転調（短調から長調に変わるところ）を意識させたり、「ウ」で歌うところの響きや音量に気を付けさせる。 ・オの部分の一部を重唱や少人数で歌わせてもよい。 ・話し合ったことを拡大した楽譜に書き加えさせる。 <p>【共通事項】調</p> <p>【評】各声部の歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡大した楽譜にこれまで書き込んだことを基に、全体の構成を分析させる。 <p>【評】声部の関わり合いや全隊の響きを聴き取り、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】